



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : DF ボンド W 夏

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

電話番号 : 03-6434-7291

電子メールアドレス : EHS@jp.sika.com

FAX番号 : -

緊急連絡電話番号 : 0463-24-4976

推奨用途及び使用上の制限

適用 : 接着剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (吸入) : 区分 4

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼
刺激性 : 区分 2A

呼吸器感作性 : 区分 1

皮膚感作性 : 区分 1

発がん性 : 区分 1A

生殖毒性 : 区分 1A

授乳に対する又は授乳を介し
た影響

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 1 (呼吸器, 中枢神経系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3 (麻酔作用)



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 1 (中枢神経系, 肝臓, 生殖器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2 (神経系, 腎臓)

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

: H332 吸入すると有害。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H350 発がんのおそれ。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H370 臓器 (呼吸器, 中枢神経系) の障害。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系, 肝臓, 生殖器) の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (神経系, 腎臓) の障害のおそれ。
H401 水生生物に毒性。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

: **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18**応急措置:**

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

| 化学名 | CAS 番号 | 含有量 (% w/w) | 化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL) 番号 |
|-----------|-----------|-------------|-------------------------------|
| クロロプレン重合物 | 未特定 | 23 | 6-743 |
| ロジン | 8050-09-7 | < 1 | - |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | < 1 | 1-561 |
| 鉱油 | 未特定 | >= 1 - < 2 | - |

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | | | |
|------------|------------|----------------|-----------|
| フタル酸ジイソデシル | 26761-40-0 | $\geq 1 - < 2$ | 3-1307 |
| ジクロロメタン | 75-09-2 | 66 | 2-36 |
| トルエン | 108-88-3 | 7.7 | 3-2, 3-60 |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 1.6 | 3-2233 |
| n-ヘキサン | 110-54-3 | 1.6 | 2-6 |
| キシレン | 1330-20-7 | < 1 | 3-3, 3-60 |

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
石けんと多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 眼に入った場合 : コンタクトレンズをはずす。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
医療処置を受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
強い眼刺激。
吸入すると有害。
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。
発がんのおそれ。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
臓器の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

刺激性影響
発疹
健康影響と症状のより詳細な情報はセクション 11 を参照ください。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。

特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
保護具を着用せずに立ち入ることを禁ずる。

環境に対する注意事項 : 河川または下水システムに排水しない。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材(例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収させる。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。

安全取扱注意事項 : 指定された職業暴露限界を超えないようにする(項目 8 を参照)
眼, 皮膚, 衣類につけないこと。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
化学製品を取扱う場合は衛生措置の基準に従う。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件

: 納品時の容器でのみ保管する。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
ラベルの予防措置を遵守する。
地域の規則に従って保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

| 成分 | CAS 番号 | 指標 (暴露形態) | 管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度 | 出典 |
|---------|--|-----------|----------------------|----------------|
| ジクロロメタン | 75-09-2 | ACL | 50 ppm | 安衛法(管理濃度) |
| | | OEL-M | 50 ppm 173 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | 詳細情報: 経皮吸収, 発がん物質, 「第 2 群 A」に分類される物質は, 証拠が比較的十分な物質で, 疫学研究からの証拠が限定的であるが, 動物実験からの証拠が十分である。 | | | |
| | | OEL-C | 100 ppm 347 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | | TWA | 50 ppm | ACGIH |
| トルエン | 108-88-3 | ACL | 20 ppm | 安衛法(管理濃度) |
| | | OEL-M | 50 ppm 188 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | 詳細情報: 第 1 群: ヒトに対して生殖毒性を示すことが知られている物質, 経皮吸収 | | | |
| | | TWA | 20 ppm | ACGIH |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | OEL-M | 150 ppm 520 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | | 8h-OEL-M | 100 ppm | 安衛則 / 濃度基準値 |
| | | TWA | 100 ppm | ACGIH |
| n-ヘキサン | 110-54-3 | ACL | 40 ppm | 安衛法(管理濃度) |



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | | | | |
|------|---|------------------------|-----------------------|----------------|
| | | OEL-M | 40 ppm 140 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | 詳細情報: 経皮吸収 | | | |
| 鉱油 | 未特定 | OEL-M (ミスト) | 3 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | 詳細情報: 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。III. 発がん性分類の前文参照, 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。 | | | |
| | | TWA (吸入濃度) | 5 mg/m3 | ACGIH |
| キシレン | 1330-20-7 | OEL-M | 50 ppm 217 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | 詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質 | | | |
| | | ACL | 50 ppm | 安衛法(管理濃度) |
| | | TWA | 20 ppm | ACGIH |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | OEL-M | 0.5 mg/m3 | 日本産業衛生学会(許容濃度) |
| | | 8h-OEL-M (レスピラブル粒子として) | 0.1 mg/m3 | 安衛則 / 濃度基準値 |
| | | ACL (粉じん) | 3 mg/m3 /(1.19Q+1) | 安衛法(管理濃度) |
| | | TWA (呼吸濃度) | 2 mg/m3 | ACGIH |
| | | STEL (呼吸濃度) | 10 mg/m3 | ACGIH |

分解生成物の労働衛生上の露出限度

| 成分 | CAS 番号 | 指標 (暴露形態) | 管理濃度 / 許容濃度 | 出典 |
|----------------|----------|-----------|-------------|-------|
| クロロ-1, 3-ブタジエン | 126-99-8 | TWA | 1 ppm | ACGIH |

生物学的職業暴露限度

| 成分 | CAS 番号 | 対象物質 | 生物学的試料 | 試料採取時期 | 許容濃度 | 出典 |
|---------|---------|---------|--------|--------|----------|----------|
| ジクロロメタン | 75-09-2 | ジクロロメタン | 尿 | 作業終了時 | 0.2 mg/l | 日本産業衛生学会 |



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | | | | | | |
|---------|-----------|-----------------------------|-----|----------------------|----------------|-----------|
| | | ジクロロメタン | 尿 | シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く) | 0.3 mg/l | ACGIH BEI |
| トルエン | 108-88-3 | トルエン | 血液 | 週の後半の作業終了前2時間以内 | 0.6 mg/l | 日本産業衛生学会 |
| | | トルエン | 尿 | 週の後半の作業終了前2時間以内 | 0.06 mg/l | 日本産業衛生学会 |
| | | トルエン | 血液中 | 労働週の最終シフト前 | 0.02 mg/l | ACGIH BEI |
| | | トルエン | 尿 | シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く) | 0.03 mg/l | ACGIH BEI |
| | | o-クレゾール | 尿 | シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く) | 0.3 mg/g-Cr | ACGIH BEI |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 1,2 - シクロヘキサンジオール | 尿 | 週の後半の作業終了時 | 50 mg/g-Cr | ACGIH BEI |
| n-ヘキサン | 110-54-3 | 2, 5-ヘキサンジオン - 酸加水分解後 | 尿 | 週末の作業終了時 | 3 mg/g-Cr | 日本産業衛生学会 |
| | | 2, 5-ヘキサンジオン - 加水分解なし | 尿 | 週末の作業終了時 | 0.3 mg/g-Cr | 日本産業衛生学会 |
| | | 2,5 - ヘキサンジオン | 尿 | 作業終了時 | 0.5 mg/l | ACGIH BEI |
| キシレン | 1330-20-7 | 総メチル馬尿酸 (o-, m-, p-三異性体の総和) | 尿 | 週の後半の作業終了時 | 800 mg/l | 日本産業衛生学会 |
| | | メチル馬尿酸 | 尿 | シフト終了時(暴露停止後で | 1.5 g/g クレアチニン | ACGIH BEI |

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|--|--|
| | | | | きるだけ早く) | | |
|--|--|--|--|---------|--|--|

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用すること。
マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度(ガス／蒸気／エアゾール／粒子)に適したものでなければならない。
- 手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取扱いの際、適合している化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、適合している保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 青緑
- 臭い : データなし
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/ 範囲 / 凝固点 : データなし
- 沸点／沸騰範囲 : データなし
- 可燃性(固体、気体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限/可燃上限値 : 66 %(V)

爆発範囲の下限/可燃下限値 : 15.5 %(V)

- 引火点 : 非該当
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 蒸発速度 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 粘度 | |
| 粘度(粘性率) | : データなし |
| 動粘度(動粘性率) | : > 20.5 mm ² /s (40 °C) |
| 溶解度 | |
| 水溶性 | : データなし |
| 溶媒に対する溶解性 | : データなし |
| n-オクタノール／水分配係数 (log 値) | : データなし |
| 蒸気圧 | : 470 hPa |
| 密度及び／又は相対密度 | |
| 密度 | : 約 1.2 g/cm ³ (23 °C) |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 爆発特性 | : データなし |
| 酸化特性 | : データなし |
| 粒子特性 | |
| 粒子サイズ | : 非該当 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------|
| 反応性 | : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 |
| 化学的安定性 | : 製品は化学的に安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | : 推奨保管条件下では安定。 |
| 避けるべき条件 | : データなし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : クロロ－1, 3－ブタジエン |



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

11. 有害性情報

急性毒性

吸入すると有害。

成分:

酸化亜鉛:

急性毒性(経口) : LD50 経口 (ラット): > 15,000 mg/kg
急性毒性(吸入) : LC50 (ラット): > 5.7 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト

キシレン:

急性毒性(経口) : LD50 経口 (ラット): 3,523 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

発がん性

発がんのおそれ。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
授乳中の子に害を及ぼすおそれ。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

眠気又はめまいのおそれ。
臓器 (中枢神経系, 呼吸器) の障害。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系, 肝臓, 生殖器) の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (腎臓, 神経系) の障害のおそれ。



版番号
1.0

改訂日:
2025/10/18

整理番号:
100000046842

前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

酸化亜鉛:

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 0.17 mg/l
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期(急性))

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期(慢性))

キシレン:

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 1.3 mg/l
曝露時間: 56 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia (ミジンコ属)): 1.17 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 7 d

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18**地球温暖化係数**

気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC) の国連気候変動 (IPCC) に関する政府間パネルの年次評価報告書

成分:**ジクロロメタン:**

20 年地球温暖化係数: 40.2

100 年地球温暖化係数: 11.2

500 年地球温暖化係数: 3.18

大気寿命: 0.493 年

放射効率: 0.029 Wm²ppb

詳細情報: クロロカーボンとヒドロクロロカーボン

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 認可された廃棄物処理業者へ委託する。

本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。

空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**国連番号 (UN number) : UN 2810
国連輸送名 (Proper shipping name) : TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S.

(ジクロロメタン)

国連分類 (Class) : 6.1
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 6.1
環境有害性 : 非該当**航空輸送 (IATA-DGR)**UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 2810
国連輸送名 (Proper shipping name) : Toxic liquid, organic, n.o.s.

(dichloromethane)



| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2025/10/18 | 100000046842 | 初回作成日: 2025/10/18 |

国連分類 (Class) : 6.1
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : Toxic
梱包指示(貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 663
梱包指示(旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 655

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 2810
国連輸送名 (Proper shipping name) : TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S. (dichloromethane)
国連分類 (Class) : 6.1
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 6.1
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-A
海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 153

15. 適用法令**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

健康障害防止指針公表物質

| |
|---------|
| 化学名 |
| ジクロロメタン |

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

| |
|------------------|
| 化学名 |
| 塩化メチレン (ジクロロメタン) |

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(則34条の2別表2)

| 化学名 | 含有量 (%) | 備考 |
|------------|---------------|-------------|
| ロジン | <1 | - |
| 酸化亜鉛 | <1 | - |
| 鉱油 | ≥ 1 - <2 | - |
| フタル酸ジイソデシル | ≥ 1 - <2 | 2026年4月1日以降 |
| ジクロロメタン | 66 | - |
| トルエン | 7.7 | - |
| シクロヘキサン | 1.6 | - |
| ヘキサン | 1.6 | - |
| キシレン | <1 | - |

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(則30条別表2)

| 化学名 | 備考 |
|------------|-------------|
| 鉱油 | - |
| フタル酸ジイソデシル | 2026年4月1日以降 |
| ジクロロメタン | - |
| トルエン | - |
| シクロヘキサン | - |
| ヘキサン | - |

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2)

| |
|-----------|
| 化学名 |
| トルエン |
| ノルマルーヘキサン |
| キシレン |

がん原性物質(労働安全衛生規則第577条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

| |
|---------|
| 化学名 |
| ジクロロメタン |

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18**鉛中毒予防規則**

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法**第一種指定化学物質**

| 化学名 | 管理番号 | 含有量 (%) |
|---------|------|---------|
| ジクロロメタン | 186 | 66 |
| トルエン | 300 | 7.7 |
| シクロヘキサン | 629 | 1.6 |
| ヘキサン | 392 | 1.6 |

国際化学兵器禁止条約 (CWC) の有毒化学品および前
駆体の添付文章 : 非該当**高圧ガス保安法**

非該当

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値(TLV)
ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標(BEI)
安衛則 / 濃度基準値 : 濃度基準値(則第 577 条の 2 第 2 項の厚生労働大臣が定める濃度の基準)
安衛法(管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II.生物学的許容値
日本産業衛生学会(許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
安衛則 / 濃度基準値 / 8h-OEL-M : 八時間濃度基準値 / 許容濃度
安衛法(管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度

版番号
1.0改訂日:
2025/10/18整理番号:
100000046842前回改訂日: -
初回作成日: 2025/10/18

| | |
|----------------|--|
| 日本産業衛生学会(許容濃度) | : 許容濃度 |
| / OEL-M | |
| 日本産業衛生学会(許容濃度) | : 最大許容濃度 |
| / OEL-C | |
| ADR | : Accord européen relatif au transport international des marchandises Dangereuses par Route |
| CAS | : Chemical Abstracts Service |
| DNEL | : Derived no-effect level |
| EC50 | : Half maximal effective concentration |
| GHS | : Globally Harmonized System |
| IATA | : International Air Transport Association |
| IMDG | : International Maritime Code for Dangerous Goods |
| LD50 | : Median lethal dosis (the amount of a material, given all at once, which causes the death of 50% (one half) of a group of test animals) |
| LC50 | : Median lethal concentration (concentrations of the chemical in air that kills 50% of the test animals during the observation period) |
| MARPOL | : International Convention for the Prevention of Pollution from Ships, 1973 as modified by the Protocol of 1978 |
| OEL | : Occupational Exposure Limit |
| PBT | : Persistent, bioaccumulative and toxic |
| PNEC | : Predicted no effect concentration |
| REACH | : Regulation (EC) No 1907/2006 of the European Parliament and of the Council of 18 December 2006 concerning the Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals (REACH), establishing a European Chemicals Agency |
| SVHC | : Substances of Very High Concern |
| vPvB | : Very persistent and very bioaccumulative |

この安全データシートに記載されている内容は、発行時における当社の最新の知識によるものですが当社はその内容につき何らの保証をなすものではありません。

保証については、当社の最新の一般販売条件が適用されます。

製品を使用または適用する前に、必ずプロダクトデータシートをご検討下さい。

JP / JA